



表紙, 目次, 社会問題研究編集規定, 執筆要項,
第66号編集委員会, Contents、奥付, 裏表紙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15338

社會問題研究

第66卷（通卷145号）

2017年2月

中山徹教授 退職記念号

中山徹教授 退職記念号

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 社会福祉学専攻



中山徹 教授

目 次

中山徹先生 送別の辞	吉 武 信 二	… i
論 文		
ホームレス自立支援策の生活困窮者自立支援制度への「統合」	中 山 徹	… 1
子どもの行動上の困難さによる措置変更のプロセスと支援の課題 —施設職員へのインタビュー調査からの分析—	伊藤嘉余子, 千賀則史, 久保樹里, 野口啓示 福田公教, 石田賀奈子, 原田旬哉	… 13
保育士養成テキスト「保育原理」における教授内容の分析 (3) —「保育の原理」の探求を視野に—	中 谷 奈津子	… 27
Person Centered Care Research in Japan - Have We Traced Kitwood or Not ?	Masaaki Yoshihara	… 39
市配置の婦人相談員のDV被害者支援における役割 —被害経験者に対するインタビュー調査をもとに—	岩本華子, 増井香名子, 山中京子, 児島亜紀子	… 53
ドメスティック・バイオレンスにおける「経済的暴力」の概念 —その予備的考察—	吉 中 季 子	… 65
あいりん地域における就労困難者の就労支援に関する考察	海 老 一 郎	… 79
研究ノート		
社会的ハイリスク妊婦のケアをめぐる葛藤 —医療・福祉専門職へのインタビュー分析より—	石原田 明 美	… 97
社会福祉学における〈人権〉の諸要素	篠 原 拓 也	… 111
中山徹教授 略歴・業績目録		127
社会問題研究投稿規定		135

社会問題研究編集規定

2016年12月18日改訂

1. 本誌は、大阪府立大学人間社会システム科学研究科社会福祉学専攻（本専攻）の教員および大学院生等の研究発表あるいは内外の資料の紹介のためのものである。
2. 1年度に1度発行する。
3. 本誌に第1著者として投稿できるのは、本専攻の専任教員、同じく博士後期課程在籍中の大学院生、および編集委員会が認めた者とする。
4. 投稿原稿の採否は編集委員会が決定する。
(院生による投稿は、当該院生の指導教員の推薦を必要とし、その内容の専門分野に精通した複数の教員による査読を経る。)
5. 投稿原稿は、所定の執筆要項にしたがうこと。
6. 編集委員会は、2名以上の専任教員（教授1名を含む）をもって構成し、掲載原稿を電子的な手段で配布する権利を有するものとする。また、掲載文は、編集委員会の議を経た上で、原則としてすべて大阪府立大学学術情報リポジトリで公開されるものとする。
7. 本専攻の教授が定年退職をし、且つ、名誉教授になる場合、編集委員会は、専攻会議における決定をえたうえで、当該教授の退職記念号を刊行することができる。

執筆要項

2016年12月18日改訂

1. 投稿原稿は、未発表のものとする。
2. 1編の投稿原稿の長さは、図表、注、引用文献、参考文献を含めて、原則として16000字以内とする。ただし、研究分野の性質に考慮する。
3. 投稿する原稿の執筆にあたっては、以下のことに留意すること。
 - (1) ワードプロまたはパソコンで作成し、縦置きA4用紙に横書きで、1600字（40字×40行）で印字した原稿を3部提出する。
 - (2) 原稿には表紙をつけて、①日本語と英文のタイトル、日本語と英文のすべての筆名と所属、②投稿原稿の種類（論文、研究ノート、資料解説、翻訳資料、講演論文、書評等から選ぶ）、③審査結果やゲラの送付のため連絡先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）を記載すること。また、論文、研究ノートの場合、④日本語要旨（400字以内）と日本語キーワード（5語以内）、⑤英文要旨（200語以内）と英文キーワード（5語以内）を記載する。
 - (3) 図表は文中に挿入せず、別の用紙に記載し、本文に挿入箇所を明記すること。なお、図版、挿画の著作権許諾（複製権、公衆送信権を含む）に関わる責任は投稿者が負うこととし、責任が明示されない場合は掲載に至らないこともある。
4. 引用文献および参考文献の書式は、社会福祉学（日本社会福祉学会）等、内外の社会福祉及び関連学術団体の書式に準拠していなければならない。
5. 著者の肩書
 - (1) 専攻教員は「大阪府立大学人間社会システム科学研究科」。「社会福祉学専攻」はいれない。
 - (2) 大学院生は単に「大阪府立大学大学院生」とする。課程はいれない。

- (3) 上記以外の場合、著者の指示に従うが、原則として研究科までの記載で揃える（これ以下の所属組織は記載しない）。
6. 英語のメインタイトルとサブタイトルそれぞれの最初の文字のみ大文字。地名や固有名等は必要に応じて大文字。メインタイトルとサブタイトルの間には半角のコロン「:」をいれる。コロンとサブタイトルの間は半角空ける。
7. 著者の英語の肩書
- (1) 専攻教員 Osaka Prefecture University
 - (2) 大学院生 Graduate student, Osaka Prefecture University

社会問題研究第66号編集委員会

編集委員長 吉武信二（社会福祉学専攻主任）

編集委員 伊藤嘉余子（社会福祉学専攻紀要委員）

Contents

Articles

“Unification” of support measures for homeless persons measures into support system for self-support of needy persons	Toru Nakayama	1
The issue of the support and the process of changing a measure to another Residential Care Institution by the reason of a child behavioral difficulty —Consideration based on the interviews with the workers of the institutions—	Kayoko Ito, Norifumi Senga, Juri Kubo, Keiji Noguchi Kiminori Fukuda, Kanako Ishida, Junya Harada	13
Analysis of the Contents in the Textbooks “Principle of Nursery Care and Education” for Training of Nursery Teachers (3)	Natsuko Nakatani	27
Person Centered Care Research in Japan - Have We Traced Kitwood or Not ?	Masaaki Yoshihara	39
The Roles of City Women’s Consultants Supporting Female Victims of Domestic Violence : An Interview Survey of Victims	Hanako Iwamoto, Kanako Masui, Kyoko Yamanaka, Akiko Kojima	53
Research Notes on Financial Abuse Through Domestic Violence	Toshiko Yoshinaka	65
Consideration on employment support of people with difficulty in work in the Airin area	Kazuo Ebi	79

Research notes

Conflicts in caring for high-risk pregnant women with social problems: An investigation based on the analysis of interviews with medical and welfare professionals	Akemi Ishiharada	97
The components of human rights in study of social welfare	Takuya Shinohara	111
The personal history works of professor Toru Nakayama		127

2017年2月28日発行

社会問題研究 第66巻

通巻第145号

発行者 大阪府立大学人間社会学研究科社会福祉学専攻
大阪府堺市中区学園町1-1

印刷所 和泉出版印刷株式会社
大阪府中央区本町1-1-6
電話 (06) 6946-1073

THE JOURNAL
OF
SOCIAL PROBLEMS

VOLUME 66 February, 2017

**The commemoration volume
for
the retirement of Professor Toru Nakayama**

Published Annual

by

Department of Social Welfare
Graduate School of Humanities and Sustainable System Sciences
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
Gakuen-cho, Naka-ward, Sakai-city
Osaka, Japan